

平成30年9月5日

緊急時対策支援システム（ERSS）の伝送停止について

原子力規制庁は、平成30年9月5日午前3時30分、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「JAEA」という。）・高速増殖原型炉もんじゅ（以下「もんじゅ」という。）（廃止措置中）に係る緊急時対策支援システム（以下「ERSS」という。）のプラント情報表示システム（ ）において、同日午前3時3分以降のデータ伝送が停止していることを確認しました。

これを受け、JAEAに対してシステム復旧を要請するとともに、システムの復旧までの間のプラントパラメータ情報は電話、FAX又は電子メール等の手段により原子力規制庁に送付するよう要請しました。

伝送停止の原因については、データ伝送に使用している回線業者から原子力規制庁及びJAEAに対し、もんじゅからのデータ伝送に使用している滋賀地域のネットワーク網に不具合が発生しているとの連絡があったこと、また、もんじゅからも原子力規制庁に対し、施設内の伝送設備に不具合は見られないが、施設外に送信できない状況との報告があったことを踏まえ、回線業者のネットワーク網の不具合に起因するものと判明しました。

原子力規制庁は、不具合が確認された回線業者のネットワーク網の復旧後、同日午後3時13分、JAEAからデータ伝送が復旧したとの連絡を受けるとともに、同日午後3時12分からのデータ伝送が復旧したことを確認しました。

経過については別紙のとおりです。

なお、本件は、原子力施設のトラブルに関するものではありません。

格納容器内の圧力や温度等の原子力施設のプラント情報をモニタに表示するためのシステムのこと。

原子力規制庁 長官官房 緊急事案対策室

室長：金子

担当：村田、小林

電話：03 - 5114 - 2121

< 概要 >

- 1 .平成30年9月5日午前3時30分、原子力規制庁が行う伝送確認作業時に、もんじゅに係るE R S Sのプラント情報表示システムにおいて、同日午前3時3分以降のデータ伝送が停止していることを確認。
- 2 .同日午前3時52分、データ伝送に使用している回線業者から原子力規制庁及びJ A E Aに対し、午前3時3分にデータ伝送で使用している滋賀地域のネットワーク網内で障害が発生したとの連絡があり、またもんじゅ施設内の伝送設備に不具合が見つからないことからこれがデータ伝送停止の原因と判明。
- 3 .同日午前4時10分、原子力規制庁は、J A E Aに対しシステム復旧を要請するとともに、システムの復旧までの間のプラントパラメータ情報は電話、F A X又は電子メール等の手段により原子力規制庁に送付するよう要請（以降、継続して情報を入手）。
- 4 .その後、伝送復旧に向けた経緯は以下のとおり。
 - 同日午後1時39分 回線業者が、同日午後1時35分に滋賀地域のネットワーク網でのデータ伝送を復旧したことを原子力規制庁へ連絡
 - 同日午後3時13分 J A E Aが、同日午後3時12分からデータ伝送を再開したことを原子力規制庁へ連絡
- 5 .同日午後3時17分、原子力規制庁は、もんじゅのデータが、同日午後3時12分より問題なく伝送されていることを確認。

以上